

## I 第31週の発生動向 (2013/7/29~2013/8/4)

- 手足口病については、上十三保健所管内では第28週から、八戸保健所管内で第30週から**警報**が継続しており、東地方+青森市保健所管内でも増加傾向で、今後の動向に注意が必要です。
- ヘルパンギーナについては、患者報告数は前週と同数の91人で、弘前、上十三保健所管内で定点あたり患者報告数が多くなっています。x

## II 第31週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科 +内科 (85) インフルエンザ															0				
小児科 (74) RSウイルス感染症			3	0.3	12	1.3							15	0.4	5				
小児科 (75) 咽頭結膜熱	1	0.1			1	0.1							2	0.0	-1			1	0.1
小児科 (76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	0.6	2	0.2	14	1.6			2	0.3	2	0.5	25	0.6	-9			5	0.6
小児科 (77) 感染性胃腸炎	15	1.9	16	1.8	5	0.6	6	1.2	3	0.5	3	0.8	48	1.2	5			15	1.9
小児科 (78) 水痘	2	0.3			7	0.8	1	0.2	11	1.8	11	2.8	32	0.8	10			2	0.3
小児科 (79) 手足口病	29	3.6	2	0.2	46	5.1			45	7.5	3	0.8	125	3.0	-2			29	3.6
小児科 (80) 伝染性紅斑			1	0.1									1	0.0	-5				
小児科 (81) 突発性発しん	2	0.3	1	0.1	3	0.3			2	0.3	2	0.5	10	0.2	-14			2	0.3
小児科 (82) 百日咳															0				
小児科 (83) ヘルパンギーナ	18	2.3	36	4.0	6	0.7	2	0.4	25	4.2	4	1.0	91	2.2	0			18	2.3
小児科 (84) 流行性耳下腺炎	1	0.1	8	0.9	2	0.2	1	0.2	1	0.2	4	1.0	17	0.4	0			1	0.1
眼科 (86) 急性出血性結膜炎															0				
眼科 (87) 流行性角結膜炎	1	0.5					1	1.0	1	0.5			3	0.3	-1			1	0.5
基幹 (92) クラミジア肺炎															-1				
基幹 (93) 細菌性髄膜炎															0				
基幹 (95) マイコプラズマ肺炎			2	2.0	4	4.0					1	1.0	7	1.2	1				
基幹 (96) 無菌性髄膜炎															0				

は警報 は注意報。「空欄」：患者発生無し。

## III 全数把握疾患 (掲載数は最新情報)

- 結核(二類全数把握疾患)：青森市1人、五所川原1人、上十三2人、むつ1人 (2013年計:190人)
- 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患)：弘前1人、八戸1人、五所川原1人 (2013年計:34人)

## IV 病原体検出情報

病原体検出情報は、ありませんでした。

# 感染症の窓

## 性器クラミジア感染症

(五類定点把握疾患)

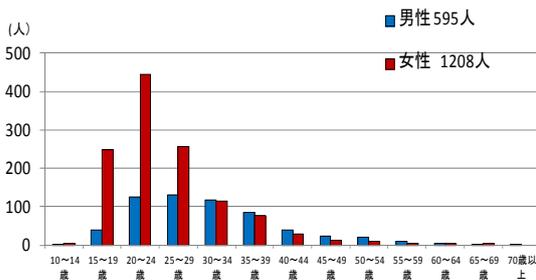


図 県内の年齢層別患者報告数 (2008~2012年)

性器クラミジア感染症は、細菌のクラミジア・トラコモナスが病原体で、成人では性行為により感染します。国内で最も多い性感染症で、感染症発生動向調査の月別の定点あたり患者報告数は、5月以降に増加し、10月以降に減少する傾向があり、夏季に感染の機会が増えることが推測されます。

男性では尿道炎が最も多く、2~3週間の潜伏期間後に排尿痛、尿道不快感、そう痒感などの症状を呈します。女性では子宮頸管炎、骨盤内炎、不妊などを起こしますが、自覚症状のない場合が多いために、診断、治療を受けないことが多く、妊娠検診時に正常妊婦の3~5%にクラミジア保有者が見られます。そのために男性パートナーや出産児へ感染させることもあるので注意が必要です。予防のためにはコンドームの使用が大切です。(参考: IDWR 感染症の話)

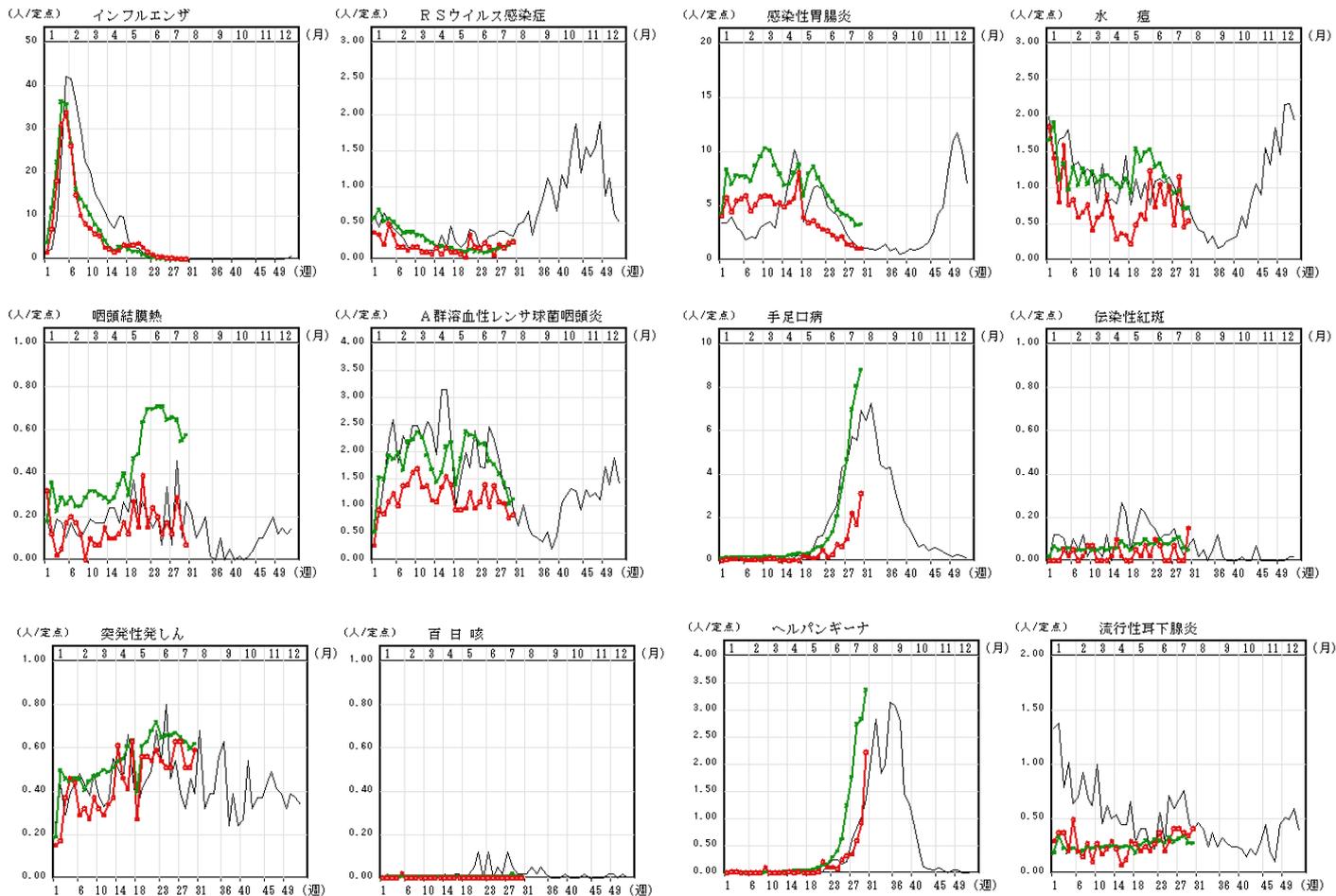
県内の過去5年間の発生動向では、女性の患者報告数は男性の約2倍であり、年齢層は、男性は20~39歳、女性は15~29歳と若年層が多くなっています(図)。



Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

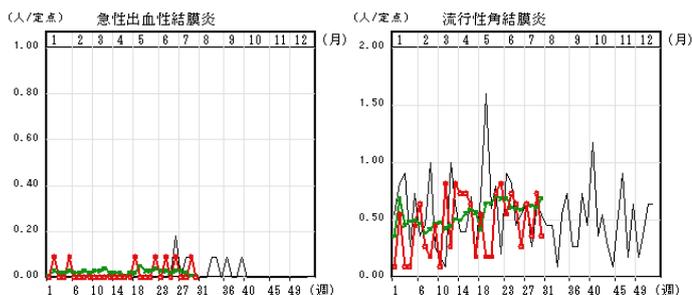
2013年第30週

グラフの説明 ○—○は2013年青森県、—は2012年青森県、×—×は2013年全国



Ⅸ 眼科定点把握疾患週別推移

2013年第30週



X 基幹定点把握疾患週別推移

2013年第30週

